

町内小中学校の野球少年が

日本ハムファイターズの選手と交流

北海道日本ハムファイターズとの植樹祭・野球教室

12月20日、北海道日本ハムファイターズ交流事業として、「植樹祭」と「野球教室」が行われ、今年度は、昨年に引き続きの来町となる江尻慎太郎投手と、道産子選手で、今シーズンの活躍が期待される渡部龍一捕手を招いて、町内から応募した小中学生と、空知川を通じた水源交流を行っている滝川市の少年野球倶楽部の子どもたちも参加して、交流を深めました。

最初に行われた「植樹祭」は、真っ白な雪に覆われた、かなやま湖畔のアオダモの森で行われ、江尻投手と渡部捕手が、参加した小中学生とともに、バットの原木となるアオダモの苗木を植えました。



△植樹を行う江尻投手と小学生

続いて、南富良野高校の体育館を会場として、「野球教室」が行われました。参加した子どもたちは、この日を心待ちにしていたようで、江尻・渡部両選手がユニホーム姿で登場すると、大きな拍手で両選手を迎えました。

野球教室は、江尻投手の進行で始まり、体育館を3周したあと、ダッシュをしたり、その場で駆け足をしながらかジャンプや体を左右にひねるなど、室内で出来るウォーミングアップを行いました。江尻投手は、「雪がある北海道は、外で練習ができないので、ウォーミングアップをしっかりして、体を温めてから練習しましょう。」と子どもたちにアドバイスしていました。



△江尻投手から「1球1球を丁寧に捕ろう」とアドバイスを受ける小学生



△渡部捕手が打撃のポイントをアドバイス

キャッチボールでは、江尻投手から「ボールは1球1球丁寧に投げて、丁寧に捕ることがポイント。」とアドバイスを受け、子どもたちは、1球1球を大切に、黙々とキャッチボールに取り組んでいました。

守備練習は、ゴロの捕球の仕方について行われ、小中学生が3グループに分かれて、江尻・渡部両選手が転がしたボールを真剣な眼差しで、捕球していました。

打撃練習では、渡部捕手から、「体の正面でボールを捕らえること。」とアドバイスを受け、2箇所に分かれて、両選手がトスするボールを、1人ずつ力いっぱいバットを振りぬいていました。途中、豪快なバティングをしていた中学生を見て江尻投手は、「日ハムは、



△渡部捕手がトスするボールを豪快に打ち返す中学生

打線が小粒なので、将来はぜひ日ハムに来てほしい。」と話す場面もあり、笑いを誘っていました。

最後には、江尻投手からピッチングが披露され、「ピッチャーは、1球1球に課題を与えて練習してください。」と話していました。

参加した小中学生を代表して、南富良野中学校2年高橋翔平くんが、「今日教わったことを、今後の練習に活かして頑張ります。」とお礼を述べました。終了後、子どもたちに江尻・渡部両選手からサイン色紙がプレゼントされると、子どもたちは大喜びでした。

無火災・無事故を願い 平成21年 消防出初式



△団員を前に挨拶する黒田団長

1月4日、新年恒例の消防出初式が行われ、多くの来賓が見守る中、りりしい制服に身を包んだ消防団員と署員が保健福祉センターみなくるの前に勢ぞろいし、厳肅な雰囲気の中、池部町長や柿原勝郎消防長、黒田實消防団長などの点呼、観閲を受けました。

会場をみなくるホールに移した式典では、多くの来賓を前に、昨年1年間の無火災地区分団に対する町長表彰のほか、永年勤続団員に対する北海道知事表彰などの伝達が行われました。

- | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|
| 南富良野町長表彰
(平成20年中無火災地区分団) | 南富良野消防団第2分団
南富良野消防団第3分団
南富良野消防団第4分団
北海道知事表彰 | 第1分団副分団長 佐藤 博
第2分団副分団長 上原 勝則
第3分団副分団長 齋藤 昭彦
第4分団副分団長 石道 徹矢
第1分団副分団長 太田 昭二
第2分団副分団長 市原 秀幸
第3分団副分団長 津田 修
第4分団副分団長 石道 徹矢 | 第1分団副分団長 佐藤 博
第2分団副分団長 上原 勝則
第3分団副分団長 齋藤 昭彦
第4分団副分団長 石道 徹矢 |
|-----------------------------|--|--|---|

- | | |
|--|---|
| 第2分団班長 小出 直由
第3分団班長 三枝 康男
第4分団班長 大橋 健二
第5分団班長 柴谷 一雄
第6分団班長 鹿野 博史
永年勤続功労章
日本消防協会会長表彰
功績章 | 第2分団班長 小出 直由
第3分団班長 長谷川義勝
第4分団班長 津田 修
第5分団班長 津田 修
第6分団班長 津田 修 |
|--|---|



△池部町長から無火災分団へ表彰状を授与

平成20年度電源立地地域対策交付金事業で消防南富良野支署の指揮連絡車を整備

電源立地地域対策交付金は、発電用施設の立地地域や周辺地域で行われる公共施設整備、または、住民福祉の向上に資する事業に対して交付されるものです。

今年度は、この事業により、消防の指揮連絡体制の強化を図るため、消防指揮連絡車を整備しました。今後は、災害などにおいて更なる迅速な対応が期待されます。

